

にぎわい

-日本海にぎわい・交流海道推進協議会通信-

会員レポート

山口県、九州地方の会員の皆様にアンケートをお願いし、各県・市町村のPRをしていただきました。今回は長崎県、佐賀県を紹介しました。

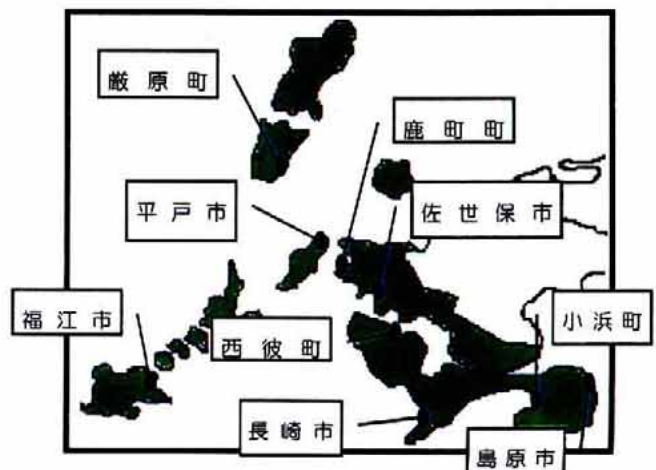
長 崎 県

◆祭&イベント◆

<ul style="list-style-type: none"> ・全北九州花火師競技大会 (4月初旬 小浜町) ・長串山つつじ祭 (4月中旬～下旬 鹿町町) ・西海橋観潮会 (3月下旬～4月上旬 佐世保市・西彼町) 	<div style="background-color: #ff0000; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 2em;">春</div> <p>(3月～5月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ランタンフェスティバル (2月中旬～ 長崎市) ・島原ファンタジア (12月1日～1月上旬 島原市) ・子泣き相撲 (2月3日(節分) 平戸市)
<ul style="list-style-type: none"> ・ながさきみなとまつり ペーロン競漕 (7月第4土・日曜日 長崎市) ・精霊流し (8月15日 長崎市) ・対馬アリラン祭り (8月第1土・日曜日 厳原町) 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #0000ff; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 2em;">夏</div> <div style="background-color: #ffff00; color: black; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 2em;">秋</div> </div> <p>(8月～8月) (9月～11月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎くんち (竜踊り) (10月7日～9日 長崎市) ・雲仙の紅葉 (小浜町) ・福江祭り (10月第1土・日曜日 福江市)



(長崎くんち)



★これから行われるおすすめイベント★

●ながさき阿蘭陀年（2000年1月～2001年3月）●

西暦2000年を「ながさき阿蘭陀年」とし、年間を通じて各種イベントを開催致します。長崎、平戸、佐世保・ハウステンボス、長崎オランダ村の各会場にて、様々な催しが行われます。

●長崎くんち（10月7日～9日）●

日本三大祭りの一つで長崎・諏訪神社の秋の大祭として全国的に有名。もともと旧暦9月9日の重陽の節句にあわせて秋祭りをやったので、9日「くんち」と呼ばれたとか。蛇踊りやココロデショ、くじらの潮吹き、オランダ万才などユニークなものばかり。

◆観光◆



<長崎地区>

グラバー園（写真）、大浦天主堂、
平和公園、中華街 など

<佐世保地区>

ハウステンボス（写真）
西海パールシーリゾート



<島原地区>

雲仙温泉、島原城、
平成新山（雲仙普賢岳）（写真）
など



◆郷土料理&特産品◆

卓袱(しっぽく)料理 (長崎市)

江戸時代、唯一世界に窓を開いていた長崎は国際交流の中心地でした。そんな異人達の食事を真似て作ったのがしっぽく料理。唐・南蛮の料理に日本料理の特徴を取り混ぜた豪華な料理を、朱塗りの円卓を囲んで大皿から思い思いに小皿にとって食べる、会食料理です。代表的な料理は、豚の角煮、アラの湯引き、揚げ物、紅サシの南蛮漬、梅碗など。

長崎ガラス (長崎市)

16世紀頃の長崎に、ポルトガル船やオランダ船から大量のガラス製品が持ち込まれました。やがて、長崎出身のガラス職人が登場し、ガラスの製法は長崎から全国へと広まっていきました。長崎ではガラス製品のことを“ビードロ”と言いますが、これはポルトガル語でガラスを意味する「vidro (ビードロ)」がそのまま残ったとか。

ちゃんぽん、皿うどん (長崎市)

独特のめんと数多くの具をラードで調理した、ボリューム満点のめん料理で、ちゃんぽんはスープたっぷりのもの、皿うどんは細いカリカリした揚げめん汁にとろみをつけたスープをあんかけにした細麺のものと、ちゃんぽん麺を使用した太麺のものがあります。ともに長崎が生んだ庶民の味です。

カステラ (長崎市)

大航海時代の16世紀にポルトガルから喜望峰を経由して伝来したパン・デ・ロウがカステラの原型とされています。当初は固かったのですが、日本人の口に合うように改良され、現在のようなふっくらしたものになりました。元来のものに加え、最近ではチョコレート、チーズ、抹茶味などのカステラも作られています。

佐賀県

◆祭&イベント◆



(伊万里トントントン)

- ・呼子大綱引き (6月第一土・日曜 呼子町)
- ・呼子朝市 (元旦を除く毎日 7:30~11:00 呼子町)
- ・海のカーニバル in かつらぎ ー唐津港まつりー (7月20日 唐津市)
- ・唐津湾イカダ大会 (7月下旬 唐津市西の浜)
- ・伊万里の夏、どっちゃん祭り (8月8日 伊万里市)
- ・伊万里トントントン祭り (10月22~24日 伊万里市)
- ・唐津くんち (唐津曳山) (11月2~4日 唐津市)
- ・鍋島藩祭秋まつり (10月31日~11月5日 伊万里市)

★これから行われるおすすめイベント★

●伊万里トンテントン祭り●

日本三大喧嘩祭りのひとつ。その由来は、南北朝の故事にあると言われ、伊万里神社の戸渡島神社に属する五色の飾り布団を載せた団車は足利氏を、香橋神社の黒屋根の荒神輿は楠木氏をあらわしています。

祭りの間、市内各地で“トンテントン”の太鼓を合図に団車と神輿が激しくぶつかり合い、最終日の川落とし合戦では、互いが組み合ったまま伊万里川へ落ち、上陸を争います。とにかく初めから終わりまで激突の連続。さすが“喧嘩祭り”です。

●唐津くんち●

曳山（ヤマを曳く）行事は、唐津神社の秋季例大祭で一般に唐津くんちと呼ばれ、17世紀中頃に始まったと伝えられています。



この祭りの呼びものは、もちろん氏子の奉納する曳山行列。“赤獅子”、“七宝丸”、“青獅子”、“浦島太郎”、“鯛”、“鯨（しゃち）”など、様々なヤマが笛、鉦、太鼓の曳山囃子に合わせ、「エンヤ、エンヤ」の声にあおられながら、唐津のまちを駆け抜けます。

11月2日の宵山、3日の御旅所神幸、4日の町廻り。揃いの法被に身を固めた

数百人の若者が2～5tものヤマを曳き廻すさまは、勇壮でありながら美しい、極彩の色絵巻のようです。

◆観光◆

<唐津市>

・唐津城・鏡山・虹の松原

<伊万里市>

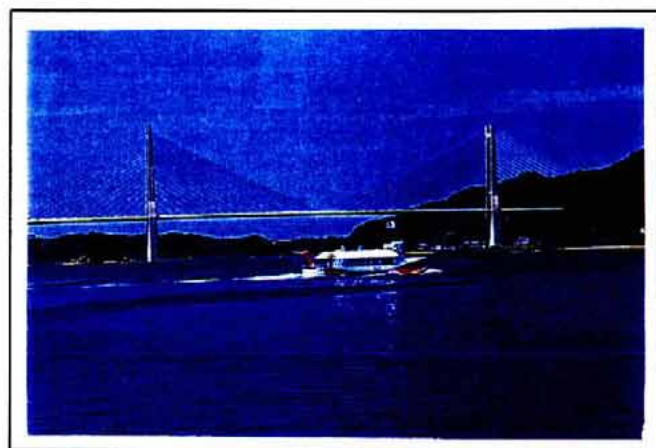
・秘窯の里大川内山
・黒澤明記念館サテライトスタジオ

<呼子町>

・呼子大橋（写真）・風の見える丘公園

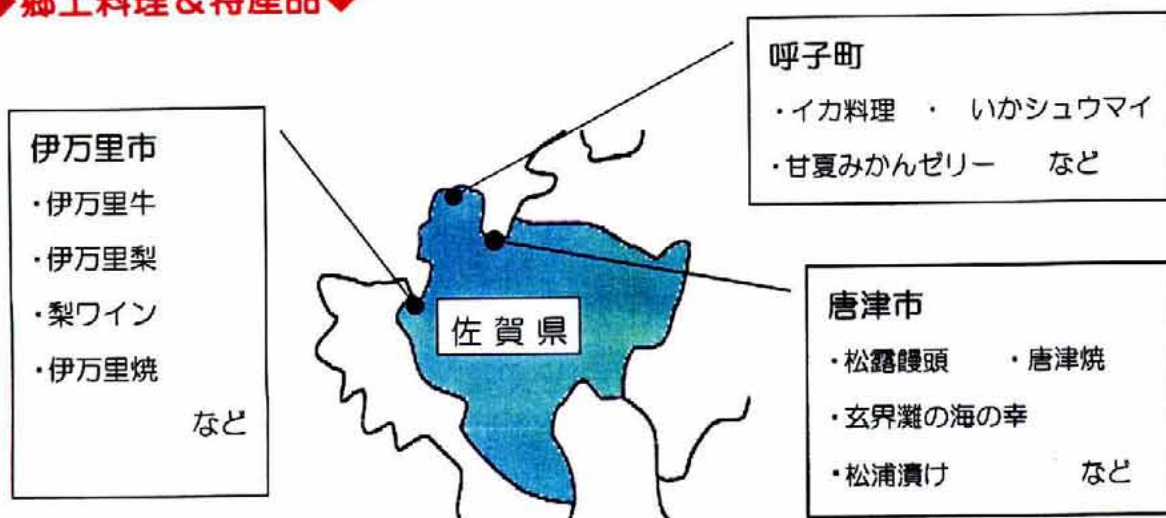
<肥前町>

・イロハ島 など



「呼子大橋」と半海中展望遊覧船「ジーラ」

◆郷土料理&特産品◆



◆ここがおすすめ◆

●ふるさと会館「アルピノ」●（唐津市）

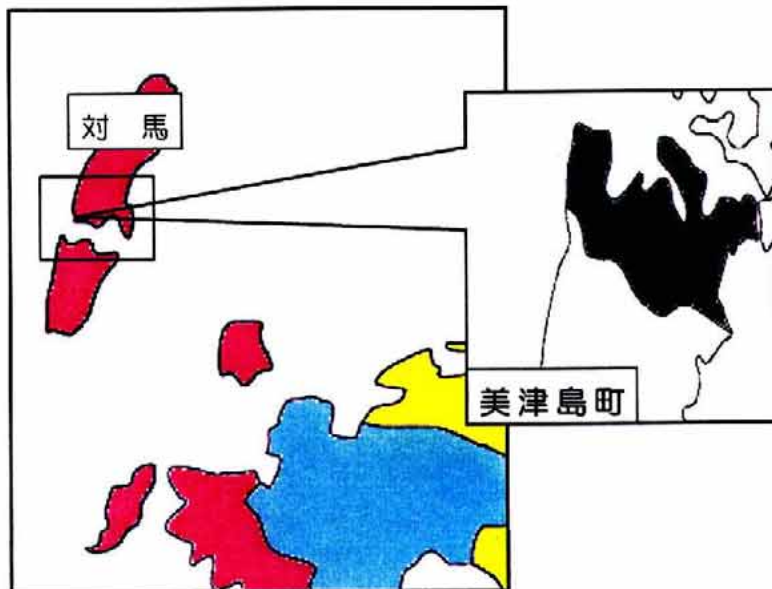
JR唐津駅北口の「アルピノ」は、唐津周辺の見る・学ぶ・食べる・遊ぶ、の様々な情報の発信拠点。モダンな外観の館内には、唐津焼や玄界灘の海の幸など、名産・特産がよりどりズラリ。食事や休憩も可。

これから行われるおすすめイベント

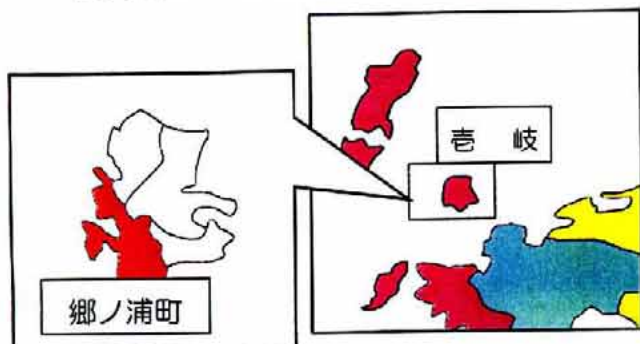
■長崎県下県郡美津島町■

夢の対馬まつり&対馬ちんぐ音楽祭 Vol.3 (10月31日)

子供からお年寄りまで総参加で地域・経済の活性化と新たな文化の創造に寄与することを目的とした「夢の対馬まつり」。日韓両国の架け橋として、共通言語である音楽を通じて真の交わりを育み、現代のお互いの文化を理解、尊重できる「ちんぐ(ともだち)」をつくることにより若者に夢とやる気を持たせることを目的とした「対馬ちんぐ音楽祭」を同時に開催します。今年度の出演者は、日本側から小室等、新井英一、EPO、韓国側からカン・サネ、ファン・シンバンド。



■長崎県壱岐郡郷ノ浦町■



一支國ウォーク 11月

古代より大陸との中継地として栄え、今もなお太古のロマンを秘めた一支國を舞台に先人達が踏みならした大地のぬくもりと着実に伝わってくる島の暑い鼓動を肌で感じてもらうイベント。

ニュース

■山口県豊魚祭 ー思いやる 心が育てる 青い海ー ■

(山口県豊浦町小串漁港)

山口県は三方が海に開けており、青い海や素晴らしい景観に恵まれています。その海の恵みを受けて、豊かな漁場が広がり、昔から漁業が大変発展し、重要な産業になっています。

豊魚祭とは、この「豊かな海の恵みに感謝すると共に、この豊かな恵みをいつまでも海から受けることが出来るよう大切な漁場の環境を守っていくために、今、私たちは何をすべきか」を考え、行動することを目的としたイベントで、昭和47年に始まり、今回（平成11年7月20日）で27回目の開催となりました。



山口県では、毎年7月を「海のクリーンアップ月間」として、漁場環境保全活動に取り組んでおり、特に将来を担う、小中学生を対象に海のクリーンアップをテーマにした作品とポスターを募集しています。豊魚祭当日は、応募作品の中から優秀作品受賞者の表彰と同時に最優秀作品の朗読が行われます。

豊魚祭と同時に、第一回豊浦町さかなまつりが行われました。イベント内容は魚介類や水産加工品の即売、地元小串小学校の鼓笛隊演奏、豊浦中学校のプラスバンド演奏など。また、いつまでも恵み豊かな海であり続けることを願って、マダイやトラフグ、ヒラメの種苗を放流しました。祭りは15時頃まで行われ、新鮮な魚介類の即売コーナーなどを中心に、多くの人でにぎわいました。



■貨物船・タンカー衝突■

(山口県下関市六連島沖)

8月26日午前2時頃、山口県下関市六連島の北東側約1.5km、関門航路出入口で、タンカー第二星宝丸とパナマ船籍の貨物船ニュープロスペリティが衝突しました。

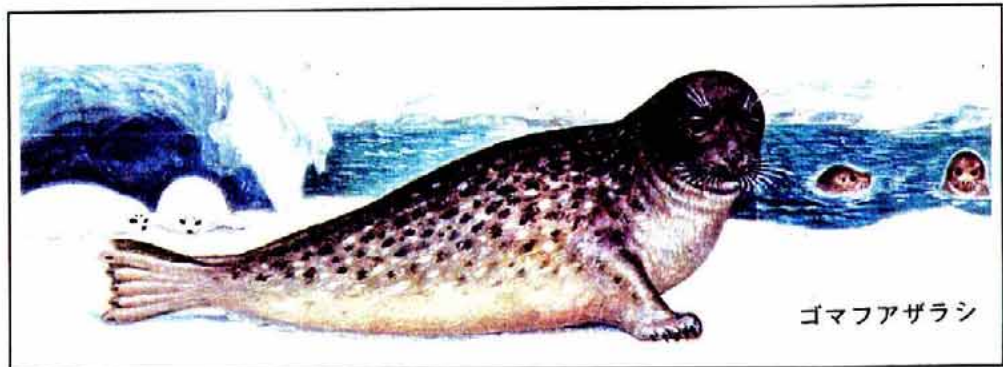
タンカーの船体右側と貨物船の船首部分が衝突し破損、積み荷のガソリン(3100kl積載)が流出し始めましたが、乗組員の応急修理により流出は止まりました。ガソリンは揮発性が高く、流出したほとんどは揮発したため、周辺海域の油汚染の拡大は食い止められました。

■アザラシ、高潮にさらわれ逃走中■

(山口県下関市長府)

9月24日午前7時頃、下関市長府外浦町の下関水族館の護岸が台風18号による高潮で決壊し、海水が敷地に流れ込み、敷地内の飼育プール、ゴマフアザラシの「ハツオ」(オス・10歳)と「マル」(メス・9歳)の2頭が、高潮にさらわれ、流されました。

ゴマフアザラシは、もともと北海道近海やオホーツク海など冷たい海水域に生息し、身体に黒い斑点が多くあるのが特徴。「ハツオ」「マル」の2頭はいずれも体長約1m、体重約60kgということ。



北九州水上署と門司署によると、26日午前7時頃、門司区太刀浦海岸に「アザラシが寝そべっている」と通報があり、署員6人が現場に急行。アザラシ1頭が寝返りを打っているのを確認しました。同館職員に連絡し、泳ぎ回るアザラシを前に餌などを与えて同館職員の到着を待ちましたが、約2時間後、沖に泳ぎ去っていきました。

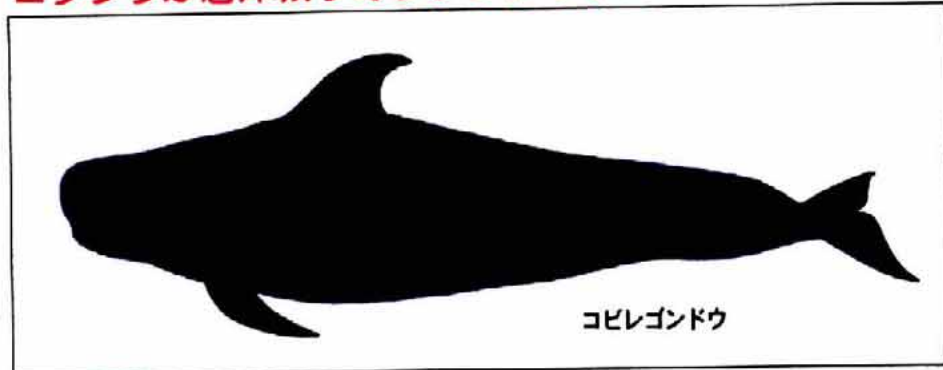
その後有力情報は得られませんでした。30日未明、下関市細江町の岸壁で雌の「マル」が、熟睡しているところを同館職員らに保護されました。雄の「ハツオ」は依然捜索中。(10月1日現在)

同館職員は「温かい海水には慣れていないはず」としながらも、餌付けで飼育していたため、「自力で餌を捕まえているかどうか心配だ」と話しているそうです。

発見した時の連絡先は、下関水族館(TEL 0832[45]1196)

■クジラが唐津城ウオッチング?!■

(佐賀県唐津市唐津湾)



佐賀県唐津市の唐津湾奥で9月28日午前7時頃から夕方頃まで、クジラ3頭が目撃され、一時大騒ぎとなりました。コビレゴンドウ

ウ(マゴンドウ)とみられ、1頭は体長5m、他の2頭は3.5~4m。一時、2頭が砂浜に乗り上げてしまいましたが、サーファーによって海へ押し戻されました。

コビレゴンドウは世界各地に生息していますが、日本海や玄界灘では珍しいということ。福岡市の水族館「マリンワールド海の中道」の蛭田密・展示部長は「具合が悪くなって群を離れた1頭に仲間の2頭が付き添って、浅瀬で回復をまっているのでは」と話しているそうです。

～編集後記～

今回は長崎県と佐賀県の紹介をさせていただきました。まるで旅行誌のような内容になってしまいましたが、みなさんが読みやすいように配慮したつもりです。いかがだったでしょうか?一生懸命各県の魅力を書こうと試みたのですが、書ききることが出来ませんでした。何かの折りでこちらにいらした時には、是非自分の目で、身体で、心でその魅力を感じ取って下さい。

そして「ニュース」では、新聞に目を通したときに日本海に関係のありそうな記事をピックアップし、掲載してみました。なかなか興味深い内容盛りだくさんだったと感じております。皆様のところではどんな出来事があったのでしょうか?

この度も、会員の皆様に多大な御協力をいただきました。今回紹介できなかった県・市町村につきましては、順次紹介していきたいと考えております。

日本海にぎわい・交流海道推進協議会事務局

第四港湾建設局 海域環境課

TEL 0832-24-4129

FAX 0832-28-1310